

神戸小放課後子ども教室【西条市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 自由な発想で自分を表現できる子どもを育てよう
- できないことができるようになった時の喜びを大切にしよう
- ゲームを通して友達の輪を広げよう

活動場所	神戸公民館		対象学校区名	神戸小学校		子どもの平均参加人数	6 人/日						
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	14 日	月2回水曜日	14 : 30 ~ 16 : 30		児童クラブ との連携	連携無						
	土・日・休業日等	8 日	月1回土曜日	9 : 30 ~ 11 : 30									
活動のべ日数	22 日	学習 活動	8 日	スポーツ	6 日	文化 芸術	6 日	体験 活動	6 日	交流 活動	2 日	その他	日
協働活動リーダーのべ 人数	41 人	人	16 人	人	6 人	人	6 人	人	6 人	人	6 人	人	
協働活動サポーターのべ 人数	8 人	PTA会員、愛護班員、民生児童 委員、教員OB	ボランティア のべ人数		26 人		公民館職員						
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集			参加費用	材料代1回100円	連携・協力 機関・団体	民生児童委員						

取組の概要

<主な取組内容>

● 創造する楽しさを味わおう

準備された材料で何を作るかは子どもの自由な発想にまかせ、大人は技術的な補助をする。

● 自分たちで作ったもので楽しもう！

自作双六でゲームをする。

● 卓球でゲームができるようになろう！



かまぼこ板で作った額縁

児童の感想

- ・クラゲの足を接着剤で作って面白かった。
- ・みんなで好きなことができて楽しかった。



	時間帯	活動内容
月	～	
火	～	
水	14:30～16:30	工作、創作
木	～	
金	～	
土	9:30～11:30	卓球

<特色ある取組>

● 新しい協力者を迎えて

こども教室運営に初めて関わる支援員さんを2名お迎えし、それぞれ得意分野である創作教室と工作教室を開設したところ、どちらにも子ども教室4年目のベテランの子ども達が参加してくれた。彼女たちは大人慣れしており、物おじしない。次は何を作りたいか自分たちで提案し、支援員さんがそれにこたえていく形になった。みんなでわいわいがやがや制作しながら、支援員さん自身も子供たちの本音を聞きながらステップアップできるいい取り組みとなった。

事業を実施して

【成果】

- 子どもたちは地域の大人や気の合う友人に囲まれ生き生きと過ごしている。自由な時間を楽しめているようだ。
- 卓球は継続6年目になり、仲良くなった友達と中学で同じ卓球部に入ったよと報告してくれる卒業生もあり、続けていて良かったと思う。

【課題】

- 小学校との複合化に向け、協力者の人数を増やし、希望する児童全員を受け入れられようしておきたい。
- 地域コーディネーターの引退予告があった。後継者を探さなければならない。